

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)

暑中見舞い

落語歳時記シリーズ

葉月(8月)の落語 「茗荷宿」

宿場のはずれに小さな「茗荷屋」という宿屋に、飛脚が一晩泊めてくれと入って来る。飛脚は百両が入っている鋏箱(はさみばこ)を預ける。百両に目がくらんだ亭主と女房が、昔から「茗荷は物忘れをさせる」というから、宿の裏にごっそり生えている茗荷(みょうが)を刈って客の男に食べさせ、預けた荷物のことなど忘れさせてしまおうと企んだ。

晩飯に、茗荷の味噌汁、茗荷の酢の物、茗荷の炊き込みご飯など茗荷づくしを膳に並べる。翌朝、ぐっすり寝て気分よく起きてきた男に、朝採れ朝絞りの茗荷ジュースを飲ませ、茗荷パンに茗荷ジャム、茗荷ハンバーグ、茗荷ステーキ、茗荷コーヒー、茗荷茶などなど、男は「美味しい、美味しい」と茗荷をたらふく、満腹、満足して預けた荷物も忘れて宿を立って行った。

宿屋夫婦はまんまと計略が成功し、百両が手に入ったと大喜びも束の間、男はすぐに戻って来て預けた荷物を持って行ってしまった。

糠喜びでがっかりした夫婦、

亭主 「何か忘れていった物はないか」、しばらくして女房が気づく。

女房 「あ、あるある」

亭主 「何を」

女房 「宿賃もらうのを忘れた」



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間“鹿政談” ところ変われば品が変わる

<https://www.youtube.com/watch?v=vXyeku1YD5g&t=73s>

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「なす」「鬼」とかけて

次回は2025年 **9月1日(月)** 「新米」「団子」とかけて